



第36期 2023年7月～2024年6月

富士ワイズメンズクラブは「社会を明るくする運動富士市推進委員会」の加盟団体です

国際会長主題	ウルリック ラウドセン	輝かそう あなたの光を
アジア太平洋地域会長主題	利根川恵子	変革のための光となろう
東日本区理事主題	山田公平	未来のために今、学びと気づきを！未来のために、自身を育み、真の喜びに出会う！
富士山部部長主題	榎本 博	NEO 富士山部
富士クラブ会長主題	吉澤廣美	心とからだ、元気で奉仕！

会長	吉澤廣美
副会長	仁藤斎浩
書記	高野 亨
会計	小澤嘉道
直前会長	菊池初彦
担当主事	金井 淳

2023年
10月 会報

10月 協調月間
ASF

巻頭言

★2023年10月例会★

と き 2023年10月11日(水) 18:30～
と ころ ホテルグランド富士 (0545-61-0360)
受 付 市川文彦君
司 会 菊池初彦君

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. 開会点鐘 | 吉澤廣美会長 |
| 1. 開会の挨拶 | 岩辺富雄君 |
| 1. ワイズソング・ワイズの信条 | 司会 |
| 1. 東日本区理事、富士山部長、会長主題の唱和 | |
| 1. 会長挨拶 | 吉澤廣美会長 |
| 1. ゲスト・ビジターの紹介 | 吉澤廣美会長 |
| 1. 食前の感謝 | 増田 隆君 |
| 1. 卓話 | 金井 淳君 |
| | 富士山 YMCA SDG s キャンプ報告 |
| 1. 誕生日 | |
| 1. 各委員会・書記・会計・事務局報告 | |
| 1. 出席率・スマイル・CS 基金報告 | |
| 1. 閉会の挨拶 | 小澤嘉道君 |
| 1. 閉会点鐘 | 吉澤廣美会長 |

例会後、役員会を開催します

10月 Happy Birthday

10月15日 岩辺富雄君

秋が来た

増田 隆

10月に入りようやく朝晩が秋らしくなってきました。私の子どもの頃と比べると季節感が随分ずれてきたように感じます。これも地球温暖化の影響なのでしょう。 「天高く馬肥ゆる秋」は人間でいう「食欲の秋」そのものですね。秋になると空気が澄んで活動的になり、連日猛暑日の夏にはできなかったことを一気にやりたくなるので、お腹がすきます。スーパーに行くと秋の実りが所狭しと並んでいます。さつまいもや栗、芋、きのこ、秋刀魚、鮭、果物など旬の食材が華々しく並ぶので、毎年この時期になるとつついダイエットなんて忘れてしまいます。「おいしかった！食べすぎたあ！」となってしまう体重計に乗るのが恐ろしくなるのもこの時期です。馬が肥えないで人が肥える、何とも笑えない話です。



9月例会報告

在籍会員	13名	例会出席者	7名	スマイル基金	7,000円	CS基金	0円
休会会員	1名	出席率	58%	スマイル累計	103,000円	CS累計	700円
担当主事	1名	ゲスト	名	ビジター	名	総出席者	8名

9月例会報告

9月例会が定刻どおりホテルグランド富士で開催されました。司会の金井君が欠席のため高野君の司会進行で始まりました。吉澤会長の開会点鐘に続き、小澤君の開会の挨拶があり、プログラムに沿って会は進行、次に吉澤会長の挨拶がありました。今月はゲスト、ビジターはいませんでした。鈴木君の食前の感謝の言葉で食事が始まりました。個人的な意見ですが大きな食卓が2卓で7人の食事は少し侘しく、7人では1卓でもよいのでは、と感じました。そうすれば会話も弾み楽しい、美味しい食事になるのでは・・・。卓話は金井君の「富士山 YMCA SDGs キャンプ報告」の予定でしたが欠席のため中止となりました。出席率は7名出席の58%でした。スマイル基金は7,000円で今期合計は103,000円でした。9月の誕生日はいませんでした。岩辺君の大きなそして元気のよい閉会の挨拶があり、吉澤会長の閉会点鐘で9月例会は閉会しました。

(富士クラブ9月例会出席者 吉澤・高野・鈴木・仲澤・小澤・岩辺・増田) (増田 記)



9月例会で挨拶する吉澤会長

9月役員会報告

書記 高野 亨

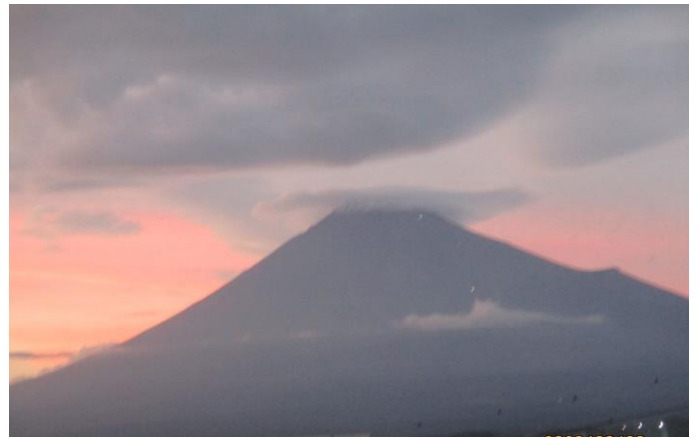
・第49回富士山部部会が2023年10月14日に伊東市のサザンクロスリゾートで行われる予定です。

現状の登録者は吉澤会長・増田YS・小澤YS・高野の4名です。

当日は公共交通機関で行きます。詳細な案内は後日に連絡致します。



小澤君の開会の挨拶



夕焼けの富士山 (富士市役所付近より)

マイタイム

金井 淳

最近、東京に遊びに行くときは「寄席」に行ってお話を聞くのが楽しみです。東京には「定席」と呼ばれる毎日落語や演芸(曲芸や漫才など)を行っている場所が、上野鈴木演芸場、浅草演芸ホール、新宿末廣亭、池袋演芸場、国立演芸場の5か所あります。それぞれ毎日寄席番組を行っているので、毎日どこかしらに知っている落語家に会いに行けます。5か所ともに夏は涼しく、冬は暖かい場所で、昼頃から夕方まで(昼夜入れ替えがない日は夜まで)、「面白い話には大声で笑い、つまらない話のときは寝てられるとても平和な空間」(某落語家談)です。2023年7月には、6代目五街道雲助さんが落語家では4人目の人間国宝になりました。木戸銭3,000円そこそこで、人間国宝が見られてしまうのは、寄席だけではないかと思えます。ぜひ機会があれば、人間国宝が見られ、「とても平和」な時間が過ごせる寄席へお出かけください。

18歳と81歳の違い

■その1

社会に旅立つのが18歳

あの世に旅立つのが81歳



■その2

心がもろいのが18歳

骨がもろいのが81歳



■その3

まだ何も知らないのが18歳

もう何も覚えていなのが81歳



(次号に続く)

回想録

【共に分かち合え 豊かな奉仕を】

この主題は2003年～2004年年度東日本区理事、樫村好夫氏の理事主題です。早いもので天国に召されてから3年の月日が経ちました。現状の富士クラブの様子を天国から眺め「富士クラブ、しっかりしなさい」と、いつものように優しい言葉で呼び掛けているようです。富士クラブの基礎を築き、大黒柱のような存在の樫村さんでした。ここに理事就任時の理事方針を数回にわたり掲載しますのでメンバーのみな様は再度読み直してください。何回読んでも素晴らしい内容です。これからの富士クラブ発展の指針になることを信じて。

No.1

2003～2004年理事方針

樫村好夫

みなさん、こんにちは。

2003年～2004年の東日本区理事を勤めます富士クラブの樫村好夫でございます。理事方針を報告いたします。理事主題として「共に分かち合え 豊かな奉仕を」
“Let’s share Together Affluent Services.”
副題として『出きる事から始めてみよう。あきらめない』 Begin with Possibule Matteres, and Never Give Up!!』といたしました。

(1) 東日本区定款改定に就いて申し上げます。

東日本区定款が、国際五階で承認され、2003年7月1日から、完全施行されることになりました。これに伴って、定款の細則や、その他の関連事項が、すでに決定されています。日本区が2区に分かれて、東日本区となってから、6年間は過ぎましたが、この間、定款改定の作業に就きましては、歴代理事をはじめ、多くの諸先輩の汗のにじむご努力がなされて参りました。衷心より感謝申し上げる次第でございます。

東日本区の発足にあたり、区の気候を根本から改革して、全ての組織のスリム化を計りました。今までの区から部へ、部からクラブへと、所謂、上意下達的方式を中止しました。そして、東日本区からの発信ではなく、各部、各クラブへと、活動の中心拠点を委譲し、自由に闊達な発想を期待いたしました。ワイズメンズクラブ国際協会の組織の基本は、クラブでありクラブ会長並びにクラブメンバーであります。その理由は、国際協会会長選挙の為の選挙権はクラブ会長一人のみが持っているからであります。ワイズのメンバーからクラブへ、クラブから部へ、そして部から区へと発信してください。当初の目的には、いまだ、十分とは申せないと思いますが、定款が完全決定したということは、東日本区の根本的な基礎が固まったということで、この上ない喜びであります。既に、各部や各クラブに於かれましては、各部則・開会則が検討なされているところでございます。各部則。各会則が新しい東日本区定款に、整合性があるように、早急に準備することをお願い申し上げます。これからは、飛躍の時と思っています。

(2) 『相互理解』『寛容の心で』で、皆がひとつとなって。全てのメンバーが、クリスチャニティーを理解しよう。

9・11から、世界が一段と大きく変化して参りました。アメリカ本土が、建国以来はじめて、外国からのテロ攻撃を受けた訳です。このテロに対する報復、宗教の違いによる争い、貧富の差の拡大、地球規模による環境破壊等、永遠に解決の困難な問題であります。

これ等の対立や、諸問題からの解放には、『相互理解』と『寛容の心』が、最も大切だと考えています。『寛容』の精神こそは、洋の東西を問わず、各個人の心の中に深く刻まれているのに、人間としての『サガ』とでもいうのでしょうか。上手に表に出せないもどかしさを感じています。富める人も、そうでない人でも、各々の立場で、物心両面で『共に分かち合え』ば楽しく、心豊かな奉仕が可能で、道は、自ずと開けるものと確信しています。そして、国際協会のキャンペーン「暴力にノー！

“Say No to Violence”を大きくして、これからも叫び続けたいと考えています。既に日本YMCA同盟では『イラク攻撃に強く反対します』との文書を、アメリカ大統領・イギリス首相に送付してあります。東日本区と致しましても、YMCA同盟のアップールに同調することを宣言致しました。イラクに、北朝鮮に、危機が迫っています。今こそ『平和』が望まれます。ローマ法王ヨハネ・パウロ二世は、既に、国教の国イギリスを始め、ロシアに、またはイスラム教、ユダヤ教との歴史的な和解を勧めております。これこそ『寛容の精神』の表れだと思います。多くの日本人は、「お宮参り」や「七五三」等は神社で、結婚式はキリスト教会で、お葬式はお寺さんで、宗教に関しては、“日本教”とも言うべき、或いは、無神教とも言えなくもありませんが、非常におおらかで寛容であります。



在りし日の樫村様ご夫妻 (2015.9.13 田貫湖での親睦会)

ノンクリスチャンの方で、新郎新婦が結婚式を、キリスト教会であげ、牧師さんの聖書によるお祝いとお説教、そして讃美歌を声高らかに歌っても、出席者を含めて特に、奇異とは感じていないのではないかと思います。総じて、日本人の心の中には『曖昧とか』『優柔不断』とか、ハッキリとものを言わない、所謂『心くばり、優しさ』が感じられます。『白か黒か』の判然とした場でも、遠回しの表現で、相手を傷つけない国民性としての特徴があると考えています。

ワイズメンズクラブの例会等に於いても、このあたりの所が、クリスチャンであってもノンクリスチャンであっても、もつともつと大らかな“日本教”になって貰

いたいと考えています。
エクステンションの初めには、何時もクリスチャニティーのことが話題になります。話題というよりは、ノン冬ともう人もいる程の深刻な問題であります。クリスチャンの方々が考えている YMCA・ワイズメンズクラブへの想いと、ノンクリスチャンの方々が肌で感じている、YMCA・ワイズメンズクラブへの想いに大きな開きや溝があるように感じています。クリスチャンの方々にとっては、ノンクリスチャンに対する『寛容の心』、そしてまた、ノンクリスチャンの方々にとってはクリスチャンに対する『寛容の心』を、お互いに良く相互理解をする必要があります。その結果、最も悲しいクラブの解散ということもなくなるものと考えています。
(次号に続く)

ハロウィンの発祥と起源の祭り

サウイン祭

ハロウィンのお祭りは、アイルランドやスコットランドに2000年以上前から伝わる古代ケルト民族のお祭り「サウイン」が起源と言われています。古代ケルトの暦では夏と一年の終わりが10月30日、冬と新年の始まりが11月1日とされており、10月30日日没から11月1日日没までがサウインの期間です。

ケルトにとっての大晦日である10月31日に前夜祭として、その年に採れた作物と動物を神様に捧げ、火を焚いてその周りを踊る行事がハロウィンの原型となっています。ケルトの宗教であるドルイド教では、この日は死者の世界と現世が繋がるため、死者が帰ってくると伝えられていました。しかし、死者と同時に悪魔や悪い妖精もやってくるため、彼らを追い払う魔除けとしてのお祭りでもありました。悪い者達から害や影響を受けないように、自分が人間だとわからないように仮想してかがり火を焚き、その焚火の燃えさしを持って帰って魔除けにしたのです。ケルトの人たちは火が消えないよう、くりぬいたカブの中に入れて運んだのですが、この行事が後世アメリカに伝わった時に、当時カブよりかぼちゃが多かったことから、かぼちゃのランタンが広まりました。ランタンを飾るのは死者が迷わず家に帰ってくるための目印ですが顔が彫られているのは、不気味な顔を見せることで悪いものをこわがらせたのだそうです。サウイン祭は長い年月をかけて伝わる間に、キリスト教の影響を受けました。中世ヨーロッパのカトリックに伝わる死者を偲ぶためにソウル・ケーキをもらうソウリング、という儀式があり、これが「トリック・オア・トリート」の原型と言われています。ちなみにこのフレーズを最初に使ったのはディズニーアニメ(1952年)だそうで



す。アイルランドではサウインの頃から伝統的に、ハロウィンにバームブラックというドライフルーツの入ったケーキを食べる風習があります。バームブラックの中にはコインや指輪、布切れといった小物が一緒に焼かれて入っていますが、何が当たるかでその年の運勢を占うそうです。

(アウターネット10月号の記事より引用しました)

富士山YMCAだより

富士山 YMCA 金井 淳

10月28日(土)～10月29日(日)に横浜YMCAのリーダー、スタッフ、リーダーOB・OGを対象とした「富士山YMCAホームカミングデー」を開催いたします。コロナ禍前までは「リーダーズデイ」として開催していましたが、ここ数年実施ができず、特にリーダーOB・OGが交流できる機会が少なくなっていました。富士山YMCAも16年の歴史の中で多くのリーダーが活躍し、そのリーダーたちが「ただいま」と帰ってこられる場所であるように、また、スタッフとしても「おかえり」と迎えられる施設であるように願います。私自身もリーダーOBとして懐かしい顔ぶれとの再会が非常に楽しみです。



10月の富士山YMCAからの秋の富士山



富士クラブ これからの予定

- 10月14日(土) 富士山部部会
- 10月15日(日) 富士山部ゴルフ大会
- 11月 8日(水) 例会・役員会
- 12月13日(水) クリスマス例会・役員会
- 12月30日(土) 富士山女子駅伝協力